

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

年頭の所感



会長 北 哲郎

平成20年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、九州少年柔道大会(マルちゃん杯)を皮切りに、九州ジュニアブロック合宿・柔道フェスタ・九州高等学校新人柔道大会等大きなイベントを本県で開催しましたが、皆様方の御指導・御支援・御協力のもとに無事終了し、かなりの成果を上げることができたと確信しております。

一方、世の中では、内外ともに暗いニュースが相次ぎました。命の尊さ・大切さを顧みない事件は後を絶たず、治安の悪化、道義の退廃に、いったい世の中は(日本は)どうなるのだろうかかと危惧しています。これには様々な原因が挙げられていますが、大切なことは自己の行動に責任を持ち、他者に対しては、感謝と思いやりの心を持って接する、所謂「心豊かな人づくり」に社会全体で取り組まなければならない時期がきていると思います。その意味では、中央教育審議会が発表した学習指導要領の改訂により、中学校武道の必修化実現は、意義があり、喜ばしい限りです。これを機に柔道の指導者が今一度「人間教育としての柔道」の原点に立ち返り、柔道の持つ教育的・精神的・体育的な価値観を取り上げて、青少年の柔道に取り組むチャンスだと思えます。

また、今年は、日本の柔道にとって、激動の年になるのではないかと思います。①柔道着の問題、②試合場の問題、③審判規定の判定基準の問題等北京オリンピックを前にして問題が山積しているようです。

鹿児島県柔道会の今年の課題は、

- ① 公益法人制度の改革に伴う新会計基準への移行
- ② 寄附行為を定款へ改訂
- ③ 市町村合併に伴う支部役員の編成
- ④ 県柔道会館(造士館)の老朽化に伴うメンテナンスの積立金づくり。

等、問題が山積みの状況にあります。私の今年の基本方針は、

- ① 嘉納治五郎師範の理想とする「柔道を通じた人づくり」・「人間教育としての柔道」を目指す。
- ② 「武の国薩摩」復活を目指した競技力の向上

この2点を今年の最重点課題として、鹿児島県柔道会一丸となって、取り組んで参る所存であります。

最後に、皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

県柔道会稽古納め

12月22日(土) 県柔道会館

恒例の稽古納めが、22日(土) 県柔道会館で行われた。北 哲郎会長の冒頭の訓示で「今年は、九州少年柔道大会(マルちゃん杯)を皮切りに、九州ジュニアブロック合宿・柔道フェスタ・九州高等学校新人柔道大会等大きなイベントを本県で開催しましたが、皆様方の御指導・御支援・御協力のもとに無事終了し、かなりの成果を上げることができたと確信し感謝している。その中でも、九州高等学校新人柔道大会団体で初優勝した甲陵高等

学校と3人の個人優勝は、「武の国薩摩」の復活の兆しを示すものであった。

また、今日は、一年を締めくくる稽古納めでもあるが、稽古で汗を流し、来年もまた素晴らしい年にして欲しい。」と述べた。

その後、取：山野修四段（加治木中教）、受：西小野智広三段（舞鶴中教）による「投の形」が披露され、中藺雅博五段（鹿児島県警）の指揮で乱取りを行った。

柔道会の役員、県警機動隊員、大学生、高校生など約60人が参加した。

県柔道会稽古始め

1月12日(土) 県柔道会館

県柔道会の稽古始めが、1月12日(土) 県柔道会館で、100人が参加して行われた。

北 哲郎会長は、訓示の中で、私の今年の基本方針として、① 嘉納治五郎師範の理想とする「柔道を通じた人づくり」、 「人間教育としての柔道」を目指す。② 「武の国薩摩」復活を目指した競技力向上。この2点を最重点課題として掲げ、県柔道会で一丸となって取り組みたいという所信表明があった。

その後、取：荒武小詠美二段（鹿児島大）、受：濱田知美初段（鹿児島大）による「柔の形」が披露され、中藺雅博五段（鹿児島県警）の指揮で、乱取稽古に汗を流した。

最後に、恒例の鏡開きがあり、準備された「ぜんざい」を2杯・3杯とお代わりしながら楽しく食べ、今年の稽古始めを終了した。



(支部だより 3)

「離島のハンディをいかに克服するか！」

熊毛支部長 蓮子昭夫

平成19年度の熊毛支部は、過去を含めても最高の喜びとする成績を残しました。小学生の部では、南界柔道スポーツ少年団山下理奈が5年生女子の部で、全国大会出場・ベスト8、県高等学校柔道競技大会(5月29日)で、中種子高等学校が男子団体準優勝し、九州大会出場という快挙を成し遂げました。そして9月の県民体育大会では、優良団体県知事表彰と念願の10年ぶり3回目の団体優勝で、勝利の美酒に酔わせてもらいました。

また、前支部長田下實先生の熊毛柔道の振興、社会教育・社会体育に御指導いただいた功績を後世に残そうとレリーフ作成を企画・決定し、武道館正面にブロンズ製のレリーフを設置して、盛大な除幕式・祝賀会を開催しました。

次に、熊毛地区の特徴的な活動を紹介します。中種子町に種子島中央武道館が約6億円かけて完成したのは、平成10年です。2階建て、1階は、剣道場2面、食堂・調理場を備えた40人収容の宿泊所、2階は、柔道場2面、観客席210席の立派なものです。

柔道の振興に、この武道館を最大限活用するよう工夫しています。

平成17年から、文部科学省運動部活動地域連携実践事業を取り入れ、スポーツクラブと連携した取組みを行っています。

柔道競技については、

1 活動形態として

ア 週に3回の合同練習を行う。

イ 活動は、種子島中央武道館で行う。

ウ 小学生から一般まで、同じ道場で稽古を行う。

エ 指導は、中種子町の柔道会員が行う。

2 指導方針

ア 小学生は、「柔道を楽しむ」・「柔道

に親しむ」・「柔道を通じて礼儀作法を学ぶ」。

イ 中学生は、「柔道を楽しむ」・「高い目標を定め、勝つ喜びを感じる」。

ウ 高校生は、「より高い目標を設定し、県大会優勝、九州大会・全国大会での活躍を目指す」。

具体的には、1年に数回有名選手を講師に招き、柔道講演会・講習会・合同練習会・強化練習会等を行っています。

現在の少子化は、何処の地域も同じで、加えて高等学校の統廃合、中学校の統廃合があり、学校数の減少とチーム数の減少は、柔道人口の減少に直結しております。柔道人口の維持・拡大には、スポーツ少年団の団員確保が急務であり、小規模で柔道を目指す子供の指導をどうするかであります。当然、柔道の上達には、「三様の稽古」・「稽古の三多」が欠かせませんが、熊毛支部では、この方式でいくらか解決しております。

利点として

- 1 小学生から、中学生・高校生・一般と同じ道場に立つということは、必ず、自分より上級の者、対等の者、下級の者がいるわけで、練習相手に恵まれない高等学校高学年生徒と一般選手の練習は、迫力のある練習風景となっています。
- 2 各学校の指導者が、どのように教えたらよいかについて研鑽し、本人の指導力の向上に繋がっています。
- 3 全員が、小学生の顔も覚えているので、日常生活でも声をかけ、非行やいじめ等もなく、青少年の健全育成に役立っています。崇高な柔道の目的である、社会に有為な青少年健全育成の目標を見失うことなく、柔道会員全員が一つの心になって、熊毛柔道を盛り上げるように努力していきます。

県柔道会の今後の御指導と益々の御発展を祈念し、報告とします。

九州の強豪が、鹿児島で！

第50回九州柔道選手権大会

第18回九州女子柔道選手権大会

平成20年3月9日(日)鹿児島アリーナ

思うこと「礼節を重んじる」

鹿児島市民生・児童委員

(財)鹿児島県柔道会監事

入船次奥

去る10月末の夕暮れどき、突然けたたましい車の警笛に驚き戸外に飛び出すと、車道に幼い男児が素足でひとり歩きをしており、すぐさま抱きかかえ家に保護。薄着で寒そうだったので毛布にくるみ暖をとり菓子などを与え落ちつかせ、やっと3歳で〇〇と名まえだけは聞きとり110番した。

ほどなく所轄の警察署少年係担当二人が駆けつけた。自宅がわからないため、近くの保育園・幼稚園に問い合わせたが心当たりはなかった。やがて夕闇も迫り、男児に不安がる様子も見られ、警官二人はパトロールカーで団地内を広報しながら巡回していった。それから約30分余りが経ち、男児と母親を伴ったパトロールカーが停まり、警官は親御さんが見つかった旨をつけ、丁重に礼を述べ母子を送って行かれた。妻と車の後を見やりながら“一件落着でよかったね”と喜び合うことだった。

ところが翌日、思いがけず担当の警官が来訪され“昨日は、まかり間違えば幼い命にかかわりかねない事態を、保護していただき感謝いたします”とお礼を言われ、かえってこちらが恐縮し返礼したら“私どもは役目柄、当たりまえのことをしているだけです”と言い残し帰られた。

しばらくたって、今回の件を振り返り「礼節」について考えさせられた。近年、とかく社会秩序を保つうえで、礼節を軽んじる風潮が目立ち、そのことが地域や家庭の教育力の弱体化・乱れを助長していると指摘・論評される。担当したお巡りさんは礼を尽くしての再訪であり、職責感からとは言え、礼節を尊ぶ奉職ぶりは、些細なこととして見過ごせない倫理上の大切な意義を示唆しているように受けとめる。

一転するが、柔道会に携わり、少年柔道が目指す修練の素養で「礼法を正す」ことが、今とりわけ求められている。強靱な体力・優れた技能は、礼法をしっかりと身につけることによって、なお引き立ち極められるのであり、ひいては礼節を重んじる教え導きを通して、社会や地域に貢献する人間性豊かな人材が育まれるのではなかろうか。

夕暮れのひととき、突発的な出来事で感じたままを記述したが、二人のお巡りさんが示された男児への思いやりや心遣いにほのぼのとした温もりを覚え、改めて敬意を表するものである。

各種大会の成績 (10月～1月)

・県高等学校新人柔道大会

10月24日(水)・25日(木)

鹿児島メインアリーナ

団体戦(男子)

- 1位 甲陵高等学校
- 2位 鹿児島商業高等学校
- 3位 鹿児島工業高等学校
- 4位 鹿児島実業高等学校

団体戦(女子)

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 鳳凰高等学校
- 3位 出水中央高等学校
- 4位 中種子高等学校

個人戦(男子)

- 60kg級
- 1位 藤山 成斗(鹿児島情報高等学校)
 - 2位 山之内 康(鹿児島情報高等学校)
- 66kg級
- 1位 渡邊 裕太(甲陵高等学校)
 - 2位 平田 拓也(甲陵高等学校)
- 73kg級
- 1位 米山 剛史(鹿児島商業高等学校)
 - 2位 麓 恭平(鹿児島工業高等学校)
- 81kg級
- 1位 矢田 友克(甲陵高等学校)
 - 2位 山田 泰裕(甲陵高等学校)
- 90kg級

- 1位 小原 大佑(鹿児島工業高等学校)
 - 2位 末永 良太(甲陵高等学校)
- 100kg級
- 1位 久保田大樹(鹿児島工業高等学校)
 - 2位 尾上 大輔(甲陵高等学校)
- 100kg超級
- 1位 土屋 潤(鹿児島商業高等学校)
 - 2位 鳥越 恵(鹿児島商業高等学校)

個人戦(女子)

- 48kg級
- 1位 豎山 優(鹿児島南高等学校)
 - 2位 石寺 美穂(鳳凰高等学校)
- 52kg級
- 1位 安達 莉穂(鹿屋高等学校)
 - 2位 川邊 未来(出水中央高等学校)
- 57kg級
- 1位 柳井谷 舞(鳳凰高等学校)
 - 2位 野口 真央(れいめい高等学校)
- 63kg級
- 1位 水俣 潮里(鳳凰高等学校)
 - 2位 東馬場とも子(鹿児島南高等学校)
- 70kg級
- 1位 白澤 恵子(鹿児島南高等学校)
 - 2位 小原 希実(鳳凰高等学校)
- 78kg級
- 1位 濱田 尚里(鹿児島南高等学校)
 - 2位 上菌 結(鹿児島南高等学校)
- 78kg超級
- 1位 吉野 光(鹿児島南高等学校)
 - 2位 岡村 桃子(鳳凰高等学校)

・県少年柔道大会

11月3日(土) 鹿児島アリーナ武道場

団体戦

- 1位 宇検柔道スポーツ少年団
- 2位 志布志柔道スポーツ少年団
- 3位 西之表黒潮柔友会
- 3位 双葉柔道スポーツ少年団

・九州高等学校新人柔道大会

11月24日(土)・25日(日)
奄美体験交流館

甲陵高校(男子団体) 鹿県勢初優勝

団体戦(男子)

- 1位 甲陵高等学校
- 2位 大牟田高等学校
- 3位 延岡学園高等学校
- 3位 日田林工高等学校

団体戦(女子)

- 1位 阿蘇高等学校
- 2位 長崎明誠高等学校
- 3位 鹿児島南高等学校
- 4位 敬愛高等学校

個人戦(男子)

- 81kg級
- 1位 矢田 友克(甲陵高等学校)

個人戦(女子)

- 48kg級
- 1位 豎山 優(鹿児島南高等学校)
- 3位 石寺 美穂(鳳凰高等学校)
- 52kg級
- 3位 安達 莉穂(鹿屋高等学校)
- 78kg級
- 1位 濱田 尚里(鹿児島南高等学校)

・県スポーツ少年団競技別交歓大会

12月23日(日) 県武道館柔道場

団体戦

- 1位 宇検柔道スポーツ少年団
- 2位 末吉柔道スポーツ少年団
- 3位 山川武道館柔道スポーツ少年団
- 3位 双葉柔道スポーツ少年団

・県高等学校柔道選手権大会

1月26日(土)・27日(日)

鹿児島アリーナ武道場

甲陵が6連覇、女子の鹿南は3連覇

団体戦(男子)

- 1位 甲陵高等学校
- 2位 鹿児島商業高等学校
- 3位 鹿児島工業高等学校
- 3位 鹿児島実業高等学校

団体戦(女子)

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 鳳凰高等学校
- 3位 出水中央高等学校
- 3位 れいめい高等学校

個人戦(男子)

- 60kg級
- 1位 藤山 成斗(鹿児島情報高等学校)
- 2位 松元 祐太(鹿児島商業高等学校)
- 73kg級
- 1位 池田宏次郎(甲陵高等学校)
- 2位 麻岡 翼(鹿児島工業高等学校)

90kg級

- 1位 矢田 友克(甲陵高等学校)
- 2位 山田 泰裕(甲陵高等学校)

100kg級

- 1位 久保田大樹(鹿児島工業高等学校)
- 2位 尾上 大輔(甲陵高等学校)

100kg 超級

- 1位 土屋 潤(鹿児島商業高等学校)
- 2位 鳥越 恵(鹿児島商業高等学校)

個人戦(女子)

52kg級

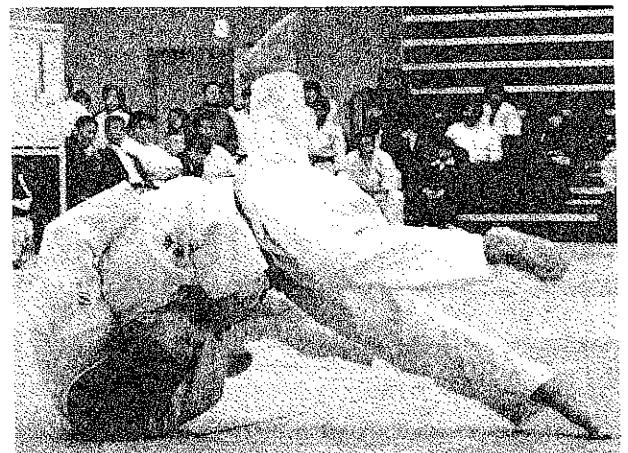
- 1位 豎山 優(鹿児島南高等学校)
- 2位 石寺 美穂(鳳凰高等学校)

70kg級

- 1位 白澤 恵子(鹿児島南高等学校)
- 2位 水俣 潮里(鳳凰高等学校)

70kg 超級

- 1位 濱田 尚里(鹿児島南高等学校)
- 2位 吉野 光(鹿児島南高等学校)



九州ジュニアブロック合宿

鹿児島で!

九州ブロックの全日本と九州地区の中学校柔道強化指定選手を指導する九州ジュニアブロック合宿が、10月25日(木)午後から28日(日)まで鹿児島アリーナ武道館で開催された。

25日(木)は、全日本男子コーチの岡田弘隆氏、同女子コーチの園田隆二氏、同女子ジュニアコーチの長井淳子氏等が、九州地区の全日本指定選手約78人の中学生を指導した。27日の午後から、九州地区の指定選手等144人も合宿に合流し、稽古を積んだ。

柔道フェスタに小・中学生

700人!

全日本柔道連盟主催・鹿児島県柔道会の主管による「第11回JUDO FESTA」(九州ブロック)が、8年振りに10月28日(日)の午後1時30分から、鹿児島アリーナサブアリーナで開催された。また、同時に鹿児島市の競技力向上対策事業の一貫として「柔道教室も」併せて開催された。

指導者は、全日本柔道連盟派遣役員の岡田弘隆(全日本男子コーチ)・園田隆二(全日本女子コーチ)・長井淳子(全日本女子ジュニアコーチ)、全日本柔道連盟参加強化選手として、九月にリオデジャネイロで行なわれた世界選手権で7度目の金メダルを獲得したばかりの谷亮子選手をはじめ、北京オリンピックを目指す秋本啓之・齋藤制剛・岡明日香、県内講師として豎山浩治・田島史朗等が参加した。

開会行事の後、世界選手権大会のビデオ上映鑑賞、立ち技の乱取りや寝技による全日本選手への挑戦。選手と参加者のふれあいでは、谷亮子選手や秋本啓之選手等への質問コーナー、ジャンケン大会があり、最後に、記念撮影をして終了した。

当日、サブアリーナに小・中学生700人

が押しかけ、2階の観客も500~600人になるなど大盛況であった。



主な行事予定(2月~5月)

- | | | |
|----|---------|-----------------|
| 2月 | 2日(土) | 県柔道選手権大会 |
| | 〃 | (〃) 県女子柔道選手権大会 |
| 2月 | 16日(土) | 県下中学校新人柔道大会 |
| 2月 | 24日(日) | 県下少年新人柔道大会 |
| 3月 | 8日(土) | 九州柔道協会総会 |
| 3月 | 9日(日) | 九州柔道選手権大会 |
| | 〃 | (〃) 九州女子柔道選手権大会 |
| | 〃 | (〃) 九州柔道高段者大会 |
| 4月 | 19日(土) | 県柔道会定期総会 |
| 5月 | 15日(木) | 県柔道指導者講習会 |
| | ~16日(金) | 〃 |
| 5月 | 28日(水) | 県高等学校柔道競技大会 |
| | ~29日(木) | 〃 |

編集後記

「鹿児島県柔道会だより」第7号から「支部だより」の欄を設けました。出水支部を皮切りに日置支部、熊毛支部と貴重な便りを届けていただきました。有難うございました。

内容は、各支部の持つ歴史、独自性、支部の抱えている問題点等、多岐にわたっているようです。

各支部では、「支部だより」の欄をよく読んで、他の支部の良い所を取り入れたり、問題解決のヒントにしてください。

「支部だより」の欄は、これからも続けます。投稿されていない支部は、投稿依頼があったら、よろしくお願いします。(畑添 勉)